



ツツジは
静岡の県の花です

第二静光園だより 春

第11号

社会福祉法人ひかりの園 養護盲老人ホーム 第二静光園
〒431-2102 静岡県浜松市北区都田町8091番地の8 TEL 053-428-3128

季節は一気に春に移り変わりました。冬場には施設で一丸となって風邪や感染症の予防に努めたこともあり、ノロウイルスやインフルエンザなどの、この冬に世間をにぎわせた感染症にかからずに安定した生活を送ることが出来ました。外出を一部制限するなどの対策は必要だったとはいえ、ご利用者には不自由な思いをさせてしまったと思います。

だからこそ、これからの時期にはいろいろと出掛けて、外出を楽しみたいです。花の匂いをかいだり、美味しいものを食べたり、汗が額ににじむくらい歩いたり、季節を感じる行事を提供したいと思います。

お花見・観梅



2月28日にフルーツパークへ観梅に行きました。
天気にも恵まれ、数十種類ある梅の木はどれも開花しており、梅の花に顔を寄せて香りを楽しみました。

3月31日は、都田総合公園へお花見に行きました。
桜がちょうど満開で、時折吹く風に花びらが舞い、風情ある雰囲気を感じました。花見弁当を食べたり、桜の花を触ったり、本格的な春の訪れを肌で感じた楽しい一日でした。



開園記念式典



4月12日、開園32周年を迎え、記念式典が催されました。午前中はご利用者のクラブ発表、午後は三方原オカリナ同好会様・童謡教室「赤とんぼ」様のコンサートが行われ、存分に楽しませていただきました。

大変盛り上がった一日となりました。



春も楽しい行事が
もりだくさんです♪

子どもの日



子どもの日には毎年近隣地区の桜ヶ丘保育園さん、同法人の根洗学園さん、第二青葉の家さんにお祝いのプレゼントをお渡ししています。
子どもたちの喜ぶ笑顔に、こちらも思わず嬉しくなりました。また来年も行くからね。



春の遠足



5月8日に、花博が開催されている浜名湖ガーデンパークに遠足に出かけました。
17名が参加され、暖かい春の日差しの下、自由に散策を楽しみました。



行事予定



5月

春季遠足
買物外出
ワックスがけ
カラオケ大会

6月

日帰り旅行
ホーム祭
カラオケ大会
買物外出

7月

七夕
墓参り
買物外出
カラオケ大会



利用者概況



入所者数 49名
うち、男性利用者 15名 女性利用者 34名
平均年齢 79.2歳
男性利用者平均 76.7歳
女性利用者平均 80.4歳

現在、66歳から95歳までのご利用者が入所されております。 平成26年5月1日現在

苦情・相談



＜2月～4月の苦情・相談等の報告＞

①平成26年3月5日（水）懇談会にて ご利用者より
[食事のご飯を残すと間食などのお菓子を減らされますか？]
（対応）

ご飯を残すからと職員の判断で間食を制限することはありません。ただし、かかりつけ医（嘱託医）の判断で、健康上の必要がある場合には食事量の調整や、間食の制限を行うことがあります。

→ご理解いただきました。

②平成26年4月16日（水）懇談会にて ご利用者より
[懇談会など、全体の場での連絡が耳が不自由な為聞こえにくいです。]

（対応）

マイクの調整や話し方など、工夫を重ねております。今回の場合は、個人的な耳の聞こえの問題もあるので、懇談会の後に残っていただいて再度伝えます。また、ご自身でも後から職員に質問していただくか、他の利用者さんから聞きなおすなど、工夫をお願いします。また、懇談会などであれば、録音して頂いても構いません。

→ご理解いただきました。

防災



最近、大地震や風水害など、突発的に予想ができないような災害が発生しています。視覚に障害のある高齢者は、施設・在宅問わず、単独での避難行動が困難であり、何らかの援助が必要になります。

情報について

被害状況や支援など、情報を得ることがあらゆる場面で容易ではありません。ライフラインに支障があったり、広域的な被害があった場合には、さらに難しくなります。加えて高齢になれば、耳が遠くなったり、認知症や持病を抱えたりすることが多くなり、さらに避難が難しくなります。

避難所や地域などでは、平等に情報が行き届くように気を配っていただけると、大変助かります。現在差し迫っている課題や、個人的な内容など、申し訳なく思ってしまう方も多いと思われます。その逆に、状況がわからない為に不信や悲観になることもあります。東日本大震災では、特に避難所での生活が難しく、無理をして家に戻ってしまった方も多くいたそうです。

施設での対策

施設では、毎月の避難訓練（主に火災）、年2回の地震想定訓練を行っています。ここでは、災害が発生しても可能な限り施設で生活すること、訓練を繰り返すことで動き方を覚えて、職員の人数が少ない時間であっても、リスクの少ない避難を行うことを目標としています。また、法人内のほかの施設との連携や、支援の鍵になる職員の安否をいち早く確認する為の「安否メール配信」の導入も始めました。

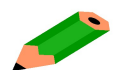
ご利用者にも、自分の居室がもし災害があったときに危険でないように整理や掃除を呼びかけるとともに、防災頭巾と非常用持出し袋の管理を呼びかけています。なにより、身体や足が丈夫でなければ、避難が大変です。日々の健康もまた、防災に繋がることを伝えていきます。

多くの高齢視覚障害者が入所している以上課題は多く、これが出来れば万全というものはありません。私たちは、毎回の訓練に緊張感を持って臨み、お互い様の気持ちで目の前の課題を乗り越えていくように努めたいと思います。

〔参考資料〕災害時の視覚障害者支援マニュアル

（社会福祉法人）日本盲人福祉委員会

編集後記



花粉も落ち着き、暖かく、風が気持ちいい季節になりました。不老長寿の縁起物といわれる八十八夜のお茶を飲んで、美味しいものを食べて、五月病にならないようにお体ご自愛くださいね！